

# エコクリーンプラザみやざき 排出源及び環境モニタリング調査結果について（平成22年 3月調査分）

(財)宮崎県環境整備公社では、公害防止協定書に基づいて、エコクリーンプラザみやざきの焼却溶融施設から発生する排ガスや敷地境界の排水検査など、排出源における公害防止などを目的に、「排出源等モニタリング」と、周辺地域における河川水質の検査などの「環境モニタリング」を定期的に行っています。平成22年3月に実施しました調査結果につきましては、以下のとおりです。

平成22年 4月8日  
宮崎県環境整備公社

## 排出源等モニタリング - 焼却溶融炉のばい煙調査

調査地点	1号焼却炉	2号焼却炉	3号焼却炉	評価基準
試料採取日	平成22年3月12日		平成22年3月12日	
試料採取・分析者	宮崎県環境科学協会		宮崎県環境科学協会	
検査項目				
01. ばいじん	g/m <sup>3</sup> N	0.001未満	0.001未満	0.01 g/m <sup>3</sup> N以下
02. 硫黄酸化物	ppm	10未満		50 ppm以下
03. 塩化水素	ppm	30未満	休炉中	80 ppm以下
04. 窒素酸化物	ppm	61		100 ppm以下
05. 一酸化炭素	ppm	5		30 ppm以下
06. ダイオキシン類	ng-TEQ/m <sup>3</sup> N	測定月でない		0.1 ng-TEQ/m <sup>3</sup> N以下

**調査結果の評価** : 各調査項目ともこれまでと大きな変化は無く、全ての項目で評価基準を下まわっています。



焼却溶融施設

## 環境モニタリング - 公共用水域（周辺河川）の水質調査

調査地点	上畑川上流堰	石崎川無名橋	だら池流入水	評価基準
試料採取日	平成22年3月12日	同左	同左	
試料採取・分析者	宮崎県環境科学協会	同左	同左	
01. 水素イオン濃度(pH)	7.6	7.6	8.8	6.5 以上 8.5 以下
02. 生物化学的酸素要求量	mg/L	0.5未満	0.5未満	3 mg/L以下 (だら池は2mg/L)
03. 浮遊物質(SS)	mg/L	1未満	11	25 mg/L以下
04. 溶存酸素(DO)	mg/L	10	11	5 mg/L以上 (だら池は7.5mg/L)
05. 大腸菌群数	MPN/100ml	790	330	5,000MPN/100ml以下 (だら池は1,000MPN)
06. 化学的酸素要求量	mg/L	2.4	1.9	(参考値 mg/L)
07. 全窒素	mg/L	0.54	2.2	(参考値 mg/L)
08. 電気伝導率(EC)	mS/m	32	21	(参考値 mS/m)
09. 透視度	cm	100以上	100以上	(参考値 cm)
10. 塩化物イオン	mg/L	5.6	7.9	(参考値 mg/L)
11~19. カドミウム等(3)	mg/L	測定月でない	測定月でない	項目により個別に設定
20~38. PCB等(4)	mg/L	測定月でない	測定月でない	項目により個別に設定
39. ダイオキシン類	pg-TEQ/L	測定月でない	測定月でない	1 pg-TEQ/L以下

**調査結果の評価** :  
今回は、10項目の調査を実施しています。  
だら池流入水については、水素イオン濃度(pH)が評価基準を上まわっています。  
これは、自然由来の植物プランクトンの影響による炭酸同化作用によるものと考えられます。  
また、同じく浮遊物質(SS)、透視度が悪くなっており、水質の悪化が見られます。



上畑川上流堰



石崎川無名橋



だら池流入水

## 排出源等モニタリング - 防災調整池排水（敷地境界）調査

調査地点	敷地境界排水	評価基準
試料採取日	平成22年3月12日	
試料採取・分析者	宮崎県環境科学協会	
検査項目		
01. 水素イオン濃度(pH)	7.8	5.8 以上 8.6 以下
02. 生物化学的酸素要求量	mg/L	160(日間平均120)mg/L以下
03. 浮遊物質(SS)	mg/L	1未満
04. 大腸菌群数	個/cm <sup>3</sup>	30未満
05. 化学的酸素要求量	mg/L	3.1
06. 全窒素	mg/L	0.61
07. 電気伝導率(EC)	mS/m	37
08. 透視度	cm	100以上
09. 溶存酸素	mg/L	10
10. 塩化物イオン	mg/L	6.1
11~30. 鉱物油等(5)	cm	測定月でない
31~46. PCB等(6)	mg/L	測定月でない
47. ダイオキシン類	pg-TEQ/L	測定月でない
		10 pg-TEQ/L以下



防災調整池排水（敷地境界）

### 調査結果の評価

: 今回、10項目の調査を実施しました。この結果、全ての項目で評価基準を下まわりました。

## 排出源等モニタリング - 浸出水調整池地下水

調査地点	浸出水調整池地下水	評価基準
試料採取日	平成22年3月12日	
試料採取・分析者	宮崎県環境科学協会	
検査項目		
01. 水素イオン濃度(pH)	8.0	(参考値)
02. 電気伝導率(EC)	mS/m	110
03. 塩化物イオン	mg/L	16
04. カドミウム	mg/L	0.01 mg/L
05. 全シアン	mg/L	検出されないこと
06. 鉛	mg/L	0.01 mg/L
07. 六価クロム	mg/L	0.05 mg/L
08. 砒素	mg/L	0.01 mg/L
09. 総水銀	mg/L	0.0005 mg/L
10. アルキル水銀	mg/L	検出されないこと
11. 透視度	cm	(参考値 cm)
12~30. PCB等(4)	mg/L	測定できない
31. ダイオキシン類	pg-TEQ/L	測定月でない
		1 pg-TEQ/L以下



浸出水調整池地下水

### 調査結果の評価

: 今回の調査では、水質の異常を示す結果はでていません。

- 3: 検査項目は、カドミウム、全シアン、鉛、六価クロム、砒素、総水銀、アルキル水銀、亜鉛、銅の9項目
- 4: 検査項目は、PCB(ポリ塩化ビフェニル)、ジクロロメタン、チウラム、セレン、フッ素、ほう素など19項目
- 5: 検査項目は、鉱物油、動植物性油、銅、シアン化合物、鉛、六価クロム、ほう素など19項目
- 6: 検査項目は、PCB、トリクロロエチレン、シマジン、ベンゼン、セレンなど16項目

### (特記事項)

・過去の調査結果等は、北地域センター、佐土原総合支所市民生活課、国富町役場町民生活課に備え置いてあります。